

## 第374回教員会議 議事要録

日時：令和6年9月13日（金） 教員会議 13：30～14：05

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

### 議 題

#### ◆教員会議◆

[審議事項]

#### 1. 学類長

##### (1) 人事委員会

##### ・人事計画について

資料1に基づき説明があった。まず、学類長から、これまでの経緯について説明があった。コースごとに人事計画案を提出してもらい、提出された6名について5月以降の将来構想検討委員会や人事委員会での検討結果に基づき、高度情報専門人材2名分と水素研2名分と合わせて6月6日に教育研究院会議へ人事計画案と理工学類からの要望書を提出した。また、水素研の2名及び高度情報専門人材の2名については、7月の教員会議で審議いただいたことについて説明があった。大学に対しては水素研や高度情報専門人材など大学改革分で措置された教員数を含めず、2023年度の正規教員数44名＋特任B1名を最低限として確保できるよう計画的な採用を要望しており、8月27日の教育研究院会議で理工学類としてメカトロニクスコース、分子デザイン科学コース、環境システムコースから各1名、計3名の採用について認められた。

メカトロニクスコースの教員公募案については、担当教授から資料1-1を基に移動機械制御や、制御にかかる環境認識、センシングを専門とする研究を公募する旨の説明があった。分子デザイン科学コースについては担当教授から資料1-2を基にプラントレベルでの化学反応を設計できる研究者を採用したい旨の説明があった。環境システムコースは、担当教授から資料1-3を基に当コースの基盤となる生態学の分野であり、大学評価の指標への貢献も考え記載したことの説明があった。また、学類長より、補足として応募資格に関して「福島近郊に居住できる方」という条件に、「採用後は」という文言を追加したことと、可能な限り女性教員の採用を検討して欲しいとの要望があった。全体を通して准教授より数学教育分野での公募に関し、高度情報の公募の中で措置できないか質問があり、学類長から全学の会議の中で認められなかったが、必要性は理解しており、状況を見つつ検討をしていきたいとの回答があった。また、別の教授から分子デザイン科学コースの公募要領においてコース名が一部現在のコース名となっているとの指摘があり、担当教授より来年度のコース名に修正するとの回答がなされた。他に質問等はなく、提案通り承認された。

[その他]

#### 1. その他

就職支援委員会の教授から口頭で面接対策・エントリーシート講座を主として学類3年生と修士1年生を対象として10月23日に開催するとの案内があり、各研究室にて大学院進学を考えている3年生へも声をかけて欲しいとの協力依頼があった。